

## 施設別行政コスト計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

(単位:円)

	図書館	郷土資料館	お種さんの資料館	体育館	中央公園	三田ヶ谷農林公園	保健センター	手子林老人憩の家	井泉老人憩の家	斎場
経常費用	93,357,416	35,158,292	518,098	61,520,486	25,639,125	62,101,732	10,316,895	582,531	499,723	29,536,411
業務費用	93,336,416	35,158,292	518,098	61,520,486	25,639,125	61,835,817	10,316,895	582,531	499,723	29,536,411
人件費	30,510,010	30,517,010	-	-	-	-	-	-	-	-
職員給与費	28,087,525	28,087,525	-	-	-	-	-	-	-	-
賞与等引当金繰入額	2,401,485	2,401,485	-	-	-	-	-	-	-	-
退職手当引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	21,000	28,000	-	-	-	-	-	-	-	-
物件費等	62,816,256	4,638,545	518,098	61,520,486	25,639,125	61,835,817	10,259,835	582,531	477,223	29,536,411
物件費	42,561,140	4,605,033	518,098	18,733,072	21,275,960	32,862,517	4,060,036	203,713	264,680	22,463,158
維持補修費	38,759	33,512	-	1,950,850	1,038,400	4,040,300	81,400	286,690	128,580	2,355,100
減価償却費	20,216,357	-	-	40,836,564	3,324,765	24,933,000	6,118,399	92,128	83,963	4,718,153
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の業務費用	10,150	2,737	-	-	-	-	57,060	-	22,500	-
支払利息	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	10,150	2,737	-	-	-	-	57,060	-	22,500	-
移転費用	21,000	-	-	-	-	265,915	-	-	-	-
補助金等	21,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会保障給付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他会計への繰出金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	265,915	-	-	-	-
経常収益	-	-	-	-	-	60	-	-	-	5,387,000
使用料及び手数料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,387,000
その他	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-
純経常行政コスト	93,357,416	35,158,292	518,098	61,520,486	25,639,125	62,101,672	10,316,895	582,531	499,723	24,149,411
臨時損失										
臨時利益										
純行政コスト	93,357,416	35,158,292	518,098	61,520,486	25,639,125	62,101,672	10,316,895	582,531	499,723	24,149,411

利用者数	40,047	8,373	32	126,911	42,482	188,000	8,357	2,583	930	10,931
利用者一人あたり純行政コスト	2,331	4,199	16,191	485	604	330	1,235	226	537	2,209

## 施設ごとの行政コストおよび利用状況の分析

施設の規模や性質によって、維持にかかるコストおよび利用者一人あたりの負担額(効率性)に大きな開きが見られます。

## ・純行政コストの規模:

対象施設の中で純経常行政コストが最も大きいのは「図書館」の93,357,416円です。次いで「三田ヶ谷農林公園」が62,101,672円、「体育館」が61,520,486円となっています。

## ・コスト効率が良い施設:

利用者数が188,000人と群を抜いて多い「三田ヶ谷農林公園」は、利用者一人あたり純行政コストが330円と低く抑えられています。また、年間126,911人が利用する「体育館」も485円となっており、大規模集客施設の効率の良さが伺えます。小規模施設では「手子林老人憩の家」が226円と全施設で最も高い効率を示しています。

## ・コスト効率に課題がある施設:

「お種さんの資料館」は年間利用者数が32人に留まり、一人あたり純行政コストが16,191円と突出しています。また、「郷土資料館」も一人あたり4,199円と高水準になっています。

## 施設別財務書類 指標分析

### BS指標

	図書館	郷土資料館	お種さんの資料館	体育館	中央公園	三田ヶ谷農林公園	保健センター	手子林老人憩の家	井泉老人憩の家	斎場	平均
有形固定資産減価償却率	72.9%	72.9%	100.0%	70.3%	98.6%	57.6%	74.1%	93.7%	95.0%	78.5%	72.4%

### PL指標

	図書館	郷土資料館	お種さんの資料館	体育館	中央公園	三田ヶ谷農林公園	保健センター	手子林老人憩の家	井泉老人憩の家	斎場	平均
受益者負担比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	1.9%
人件費割合	32.7%	86.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	59.9%
物件費等割合	67.3%	13.2%	100.0%	100.0%	100.0%	99.6%	99.4%	100.0%	95.5%	100.0%	39.7%
その他の業務費用割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	4.5%	0.0%	0.4%
移転費用割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
利用者一人あたり純行政コスト	2,331	4,199	16,191	485	604	330	1,235	226	537	2,209	2,387

### 財務書類指標(BS・PL)に基づく分析

貸借対照表(BS)および損益計算書(PL)から導かれる各種指標により、施設の老朽化度合いや収益性の実態が明らかになります。

・施設の老朽化状況(有形固定資産減価償却率):

施設全体の平均は72.4%です。特筆すべき点として、「お種さんの資料館」が100.0%に達しているほか、「中央公園」が98.6%、「井泉老人憩の家」が95.0%、「手子林老人憩の家」が93.7%と、極めて高い償却率を示す施設が複数存在します。一方で、「三田ヶ谷農林公園」は57.6%と比較的低く保たれています。

・コスト構造の特徴(人件費・物件費割合):

全体平均では人件費割合が59.9%、物件費等割合が39.7%となっています。「郷土資料館」は人件費割合が86.8%、「図書館」は32.7%を占めていますが、それ以外の多くの対象施設(体育館や各公園、老人憩の家など)は物件費等割合がほぼ100%を占めるコスト構造となっています。

・収益性の状況(受益者負担比率):

全体平均は1.9%に留まります。利用料等による収益確保の面では、「斎場」が受益者負担比率18.2%を示している以外、その他の対象施設は軒並み0.0%となっており、施設維持費の全額を公費で賄っている状態です。